



会場全員で校歌を斉唱(滑河小学校)

市内小学校の閉校式が3月下旬に開かれ、東・滑河・小御門・名木・高岡の5校がそれぞれの歴史に幕を下ろしました。多くの地元住民や卒業生も参列した閉校式を終え、未来への第一歩を踏み出した子どもたちは、新しい学校生活への期待を胸に新学期を迎えています。

東小学校は3月22日、滑河・小御門小学校は3月29日、名木・高岡小学校は3月30日にそれぞれの体育館で閉校式が行われました。

各校の創立は、滑河小学校が明治8(1875)年、小御門・高岡小学校が明治9(1876)年、名木小学校が明治15(1882)年、東小学校が昭和25(1950)年で、それぞれが地域の教育拠点として地元の人たちに親しまれ、その歴史を刻んできました。

地域に根差した特色ある教育活動に取り組み、児童の健全育成に貢献してきた各校ですが、児童数の減少などにより、東小学校は遠山小学校に統合され、滑河・小御門・名木・高岡小学校の4校は統合して下総小学校になりました。

下総小学校は下総中学校の敷地内に建設され、市内でも初めての小中一貫教育校(通称名「下総みどり学園」としてスタートを切りました。

式典は、地元住民、卒業生などが出席し、歴史に幕を閉じる学校との別れを惜しまました。秋山教育委員長が閉校宣言を行い、校長から関川教育長に校旗が返納されました。

校長や来賓からは、学校の伝統や歴史を振り返り、関係者に感謝の意を伝え、新たな出発となる児童らにエールが送られました。

式典後は、記念事業が行われ、閉校を惜しみつつ、新たなスタートに向け一つの区切りとしました。各校では児童合唱や、学校の歴史

史を振り返るスライドショーの上映、校歌や沿革を刻んだ記念碑の除幕式などが行われ、閉校が思いに残るものとなりました。

中には、卒業生の浪曲師による「記念口演」が行われた学校や、やはり卒業生の映画監督が制作したショートムービーが上映された学校もありました。

このほか、学校の歴史を物語る写真や児童の作品などが展示され、来場者は懐かしい品々を手に取り見入っていました。

閉校となった5校のうち3校は、地区運動施設として暫定的に活用していますが、今後の活用方法は地域の人たちと協議しながら検討していきます。



校長から教育長へ校旗を返納(小御門小学校)

それぞれの長い歴史に幕 市内5小学校で閉校式



校舎内に設けられた資料展示で、思い出の写真に見入る
(滑河小学校)



ショートムービー上映後、会場は感動に包まれた
(高岡小学校)



別れを惜しみつつも、校長と児童代表が校旗を返納
(名木小学校)



「ありがとう」思いを込めて記念碑の除幕
(小御門小学校)

再配置前

(平成26年3月31日まで)

遠山小学校
東小学校



再配置後

(平成26年4月1日から)

遠山小学校

滑河小学校
小御門小学校
名木小学校
高岡小学校



下総小学校
(下総みどり学園)



記念碑の前で全校児童で一枚
(東小学校)